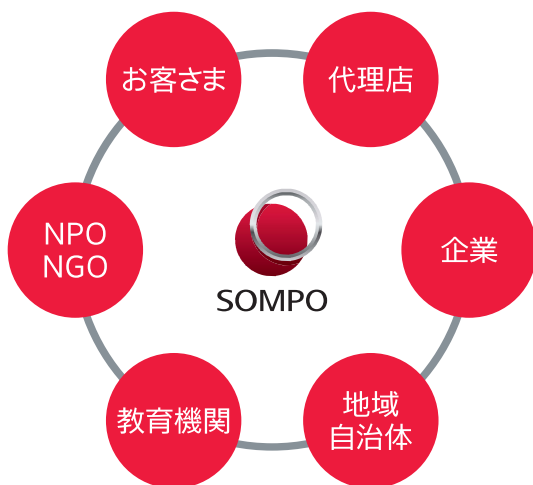


方針 7

企業としての社会的責任を果たす取組み



多様なステークホルダーとの共創

当社は、創業以来受け継がれてきた「火消しの精神」を「HIKESHI DNA」として再定義し、防災・減災の取組みを強化する「HIKESHI DNA 2030 Project」を始動しました。本プロジェクトは激甚化する自然災害から、「人々のくらしや幸せ・企業活動を守り抜くこと」を目的としています。地域のさまざまな課題に対し、NPO/NGOや教育機関など多様なパートナーと連携して取り組むことで、災害に強く、だれもが安心して暮らせる地域社会の実現に貢献していきます。

防災ジャパンダプロジェクト

累計 1,528 回開催

〔参加者累計〕約 186,000 人
(2026 年 3 月時点)

黄色いワッペン贈呈事業

62 年継続

約 7,383 万枚
(2026 年 3 月時点)

SAVE JAPAN プロジェクト

累計 1,226 回開催

〔参加者累計〕約 70,700 人
(2026 年 3 月時点)

共創した
ステークホルダー数

865

(2026 年 3 月時点)

地域の社会課題解決

● 防災ジャパンダプロジェクト



子どもたちとその保護者を対象に、体験型防災ワークショップ「防災ジャパンダプロジェクト」を実施しています。コンテンツの1つであるSOMPO流「逃げ地図」*づくりワークショップでは、災害発生時に避難地点へ到達するまでの時間を色分けし、避難方向を図示した「逃げ地図」づくりを通じて、参加者間のコミュニケーション形成、地域の助け合いである「共助」と防災や避難を自分ごと化して守る「自助」の形成に貢献しています。平時からの備えの大切さを啓発し、これらの活動を通じて、累計約186,000人(2026年3月末)にご参加いただきました。多様な団体と協働しながら全国で活動を展開しており、文部科学省主催の「いーたいけんアワード」で奨励賞を受賞しました。

*「逃げ地図」は株式会社日建設計の登録商標です。

● \みらいワクワク/こども仕事体験フェスタ

子どもたちの将来の選択肢を広げ、高い志を持つきっかけとなるよう、小学生向けの仕事体験イベントを実施しています。本イベントの開催を通じて子どもの貧困や産業の空洞化などの社会課題の解決や地方創生に貢献していきます。2022年の沖縄での開催をきっかけに、2025年度は20か所で開催され、取組みの輪が全国各地へ広がっています。



● 黄色いワッペン贈呈事業

毎年、全国の新小学一年生へ子どもたちの交通安全を願って交通事故傷害保険付き「黄色いワッペン」を贈呈しています。この事業は、株式会社みずほフィナンシャルグループ・明治安田生命保険相互会社・第一生命保険株式会社とともに実施しております。2026年で62回目を迎え、これまでの累計贈呈枚数は約7,383万枚になりました。



©2026 Pokémon. ©1995-2026 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK Inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

地域の環境課題解決

● 中堅・中小企業の脱炭素経営支援サービスの提供



当社およびSOMPOリスクマネジメント株式会社は、株式会社タンソーマンGXと提携し、中堅・中小企業向け脱炭素経営支援サービス「デンキチェック」の展開を2026年1月に開始しました。近年、サプライチェーン全体での脱炭素化が求められる中、多くの中堅・中小企業ではノウハウや人材不足から取り組みが進まない課題を抱えています。本サービスは、企業の電気代削減ポテンシャルをわずか1分で診断する「電気AI診断」をはじめ、脱炭素経営に必要な各種メニューをワンストップで提供し、再生可能エネルギー電力への切り替えや、太陽光発電・蓄電池の導入、EVリースといったサービスを安心・安全かつ利便性の高い形でご利用いただけます。当社は本サービスの提供を通じて、中堅・中小企業の「コスト削減」と「排出量削減」の両立を、実効性の高い方法で支援してまいります。

環境人材育成

● SAVE JAPANプロジェクトの展開

2011年から地域の環境団体やNPO支援センター、日本NPOセンターと協働し、毎年全国で市民参加型の生物多様性保全活動を行う「SAVE JAPAN プロジェクト」を展開しています。14年間で携わった希少種は300種を超え、延べ1,226回のイベントを開催し、累計約70,700人以上の方にご参加いただきました(2026年3月末)。2023年からはEco-DRR^{*1}の浸透・促進やOECM^{*2}の推進に寄与する「OECM100か所プロジェクト」も展開しており、これまでに5つの地域が自然共生サイトに登録されました。

*1: Eco-DRR/生態系を活用した防災・減災

*2: OECM/国立公園などの保護地域以外で生物多様性保全に資する地域



〈秋田県八郎湖での生き物観察イベントの様子〉

新たな戦略「SOMPO Earth Positive Actions」

SOMPOグループは、2021年度の「SOMPO 気候アクション」公表以来、グループ一丸となって気候変動対応のフレームワークを構築し、2050年のネットゼロ実現に向けた具体的な取り組みを実践してきました。

今後は、この取り組みを「SOMPO Earth Positive Actions」へと進化させ、気候変動のみならず「生物多様性」や「循環経済(サーキュラーエコノミー)」といった環境課題を統合的に捉えた「シナジーアプローチ」を推進します。また、「人権への配慮」をすべての基盤に据え、地球環境への貢献とグループの持続的な成長の両立を目指します。

アクションの実行にあたっては、多様な事業を通じて築いてきた「地域のネットワーク」、サステナビリティに関する「グローバルなルール形成への貢献実績」、そして長年にわたり継続してきた「環境分野における人材育成」という、SOMPOならではの独自の強みを最大限に活かし、ステークホルダーの皆さまとともに未来に向けたポジティブな変革を創出してまいります。

